

田舎暮らし設計

はじめよう！
あなたの田舎暮らしの生活費設計、
ライフスタイルの組立てを応援します。

田舎暮らしの生活費設計

このソフトは、自分自身で収入、支出、貯蓄等の設計を行うことを支援するソフトです。

「田舎で暮らしたいけど、実際にどのくらいの生活費がかかるの?」、「田舎ってお金がかからないイメージあるけど?！」といった疑問に対して、あなたの家族構成や収入計画、ライフスタイルを考えながら、家計状況をシミュレーションすることができます。この「田舎暮らし設計」は、島根県の中山間地域で実際に暮らしている家族の詳細な生活費調査のデータを基に開発しています。

田舎暮らし設計を上手に使う

1. 実際に住みたい地域の自治体さんの情報をもらいながら、一緒に設計すると効果的

まだ田舎暮らしを開始されていない人の場合、想像だけで「田舎での暮らし」を設計することには限界があります。移住を希望する地域が或る程度絞れてきたら、自治体の担当窓口の方等と相談し、家賃やその他の諸条件を具体的に入れながら、このソフトを使用することをお勧めします。

2. まずは平均値を使って家計予想

まずは、「平均値」を使って、簡易な将来の家計予想を見てみて下さい。
この平均値は、実際に島根県の中山間地域に住んでいる家族の生活費調査に基づいて、「あなたの家族構成と同じ世帯の1ヵ月の平均支出額」が設定されています。
「詳細設定する」の場合も、初期設定は詳細費目毎の「平均値」が入っています。平均値を確認した上で、調整バーを動かし、あなたのライフスタイルに合った値に設定してみましょう！

3. 最低でも2回はシミュレーションを繰り返す

必ず「2回以上」、支出の設定を変更しながら予測を繰り返して下さい。
そして、適切な支出の組み合わせを見出しましょう。
職種や収入条件によって異なりますが、大抵の場合、最初は赤字（年間の収入が年間の支出を上回る）結果となります。これは、考えているライフスタイルでは支出が多すぎることを意味します。
しかし、ここで諦めないでください。支出方法を工夫していけば、目指すあなたのライフスタイルや家計状態に近づく、支出の組み合わせがあるはずです。

一番大切なのは…

ソフトは、あくまで設計支援ツール。出会いとチャンスを見逃さないための道具です。

「田舎暮らし設計」は、あなたのライフスタイルに合った田舎暮らしを実現するためのソフトです。
しかし、ソフトを使うだけではその実現は難しい…、一番大切なのは、自分のライフスタイルに合った地域と出会う事、市町村担当者さんとお出会う事、さらには、実際に現地に足を運んで地域と触れ合い、その環境と地域の人としっかりコミュニケーションをとる事です。
そんな出会いを見逃さないために、いろいろな可能性を広げるために、このソフトを活用して下さい。

この生活費設計支援ソフト「田舎暮らし設計」は、島根県の中山間地域で暮らしている子育て世帯を中心とした100世帯を超える生活費調査のデータに基づいて開発しています。
このソフトは完成版ではなく、より精度を高めるため、現在も基礎データとなる生活費データの収集を行っております。今回、このソフトを使われた皆さんのデータもソフト改善のために、データとして保存させていただきますことをご了承ください。
原則、島根県外の方へのソフト提供は行っておりませんが、島根県への移住プランを具体的に考えておられ、生活費を参考にしたい等の事項につきましては、下記までEメールでお問い合わせ下さい。

島根県中山間地域研究センター家計調査窓口：kakei@pref.shimane.lg.jp

田舎暮らしの家計相談ブース

田舎暮らし設計ソフト 体験版

「田舎暮らし設計」は、田舎暮らしを、「考えている」、「はじめる」、「はじめている」そんな方の収入や貯蓄、生活費の組立ができる「田舎暮らしの生活費設計支援」ソフトです。

このソフトは、島根県の中山間地域で暮らす、100世帯を超える詳細な生活費調査に基づいて開発しています。

田舎での具体的な暮らしをイメージしながら、或は、現在お住まいの環境での生活費と比較しながら、実際に必要になる田舎での生活費を設計してみましょう。

考えてみたことありますか：

田舎暮らしに必要な生活費。

家計のシミュレーションで、

田舎暮らしを設計してみよう。

農業 趣味
車 暖房 食

教育 住居 夢 農業

自然 仕事 趣味

貯蓄 医療 遊び

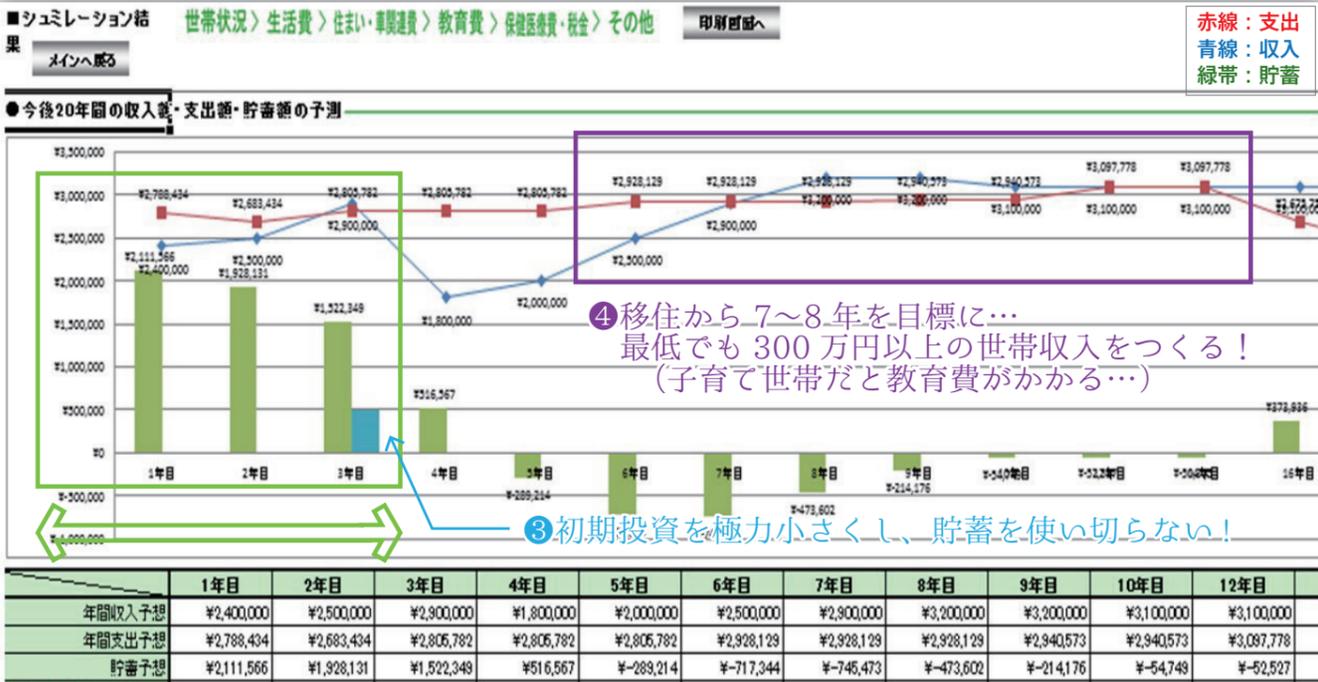
田舎暮らし設計

結果の見方…

こんな結果が出てきます。
例えば、「30歳代夫婦+子ども1歳」の場合。

- 【諸条件】
- 夫：3年間は地域おこし協力隊 月18万円 → 4年目就農 月3万円から開始
 - 妻：1年目から月6万円のパート, 5年目から月9万円, 7年目から月10万円
 - 移住の際 250万円の貯蓄がある
 - 移住後 4年目に農業就農に向け 100万円貯金を使う

① 子どものいる世帯なら移住時に貯蓄が100~200万円ないと厳しい!



④ 移住から7~8年を目標に…
最低でも300万円以上の世帯収入をつくる!
(子育て世帯だと教育費がかかる…)

③ 初期投資を極力小さくし、貯蓄を使い切らない!

② 最初の3年間の暮らしのコツは貯蓄を減らさない!



支出の内訳もチェック!
抑えられる支出はないかなあ…

あなたが設計した支出内容

● 支出合計	
月	223,620円
年	2,683,434円

● 食費		● 日用品・衣服・美容・余暇	
月	30,190円	月	16,027円
年	362,283円	年	192,323円

● 住居費		● 光熱費	
月	10,191円	月	14,227円
年	122,292円	年	170,725円

● 上下水道費		● 家電・家具	
月	7,675円	月	5,798円
年	92,102円	年	69,571円

● 情報通信費		● 自動車関連費	
月	15,652円	月	44,478円
年	187,824円	年	533,739円

● 教育費関連(子ども)		● 教育費関連(親学習費)	
月	0円	月	0円
年	0円	年	0円

● 保健医療費		● 保険・税金	
月	6,592円	月	57,081円
年	79,103円	年	684,967円

● つきあい費・旅費等	
月	15,709円
年	188,505円

注：各支出は平均より相当絞ってあります。



ソフトを使ってみましょう。
まずは、平均値の結果をチェックして、あなたの暮らしにあった詳細を設定します。

ステップ1：世帯状況を入力します



まずは、あなたの世帯構成、家族の世帯状況を入力します。
将来の子育て経費も見込んだ「家族計画」も盛り込むとよいでしょう。

長期的なビジョンを持って、将来計画を含めた状況を入力しましょう!

ステップ2：まずは、食料!生活に関わる経費を細かく考えてみる



暮らしの中で消費していく経費の一つひとつを設定していきます。
平均値をベースに、食費や光熱費等の細目までカスタマイズすることが可能です。

田舎暮らしでも結構、浪費してたりして…

ステップ3：住まいや車関連にかかる経費はどうでしょう?



暮らしのスタイルを6つのステップで設定して行きます。
平均値をベースにしながら、様々なパターンで経費削減を検討しましょう!

ステップ4：子育てや教育費にどれだけの費用がかかるかなあ



学校教育以外の、部活動や習い事…親の学習・趣味の講座費用なども考慮します。

市町村によって、様々な支援策や、居住地に高校が在るか否かも、大きく影響!

ステップ5：保険や医療費、税金なども設定しましょう!



医療費・保険・税金など、2つのステップで細かく設定していきます。

ここでも、市町村によって、様々な支援策がありますね!

ステップ6：交際費や趣味のための資金など、その他にかかる資金も想定しておこう!



交際費や旅行などの余暇経費の他、その時の状況や、将来の目標などを残しておきましょう!

状況に合わせて随時更新を!家計のやりくり上手になろう。

ステップ7：結果を確認。実は…ここからが設計のスタート!あなたのライフスタイルに合った支出・収入・貯蓄になったでしょうか?



この結果をどう読むか…意外?想定内??平均値と比較しながら振り返ってみましょう!

収入・支出計画の再検討方法

1. 収入・支出計画の再検討方法
2. 収入・支出計画の再検討方法
3. 収入・支出計画の再検討方法
4. 収入・支出計画の再検討方法

将来の家族や子育てのこと、移住地での支援制度等も考慮しながら…長期的なビジョンで、再検討してみよう!